

浜松市障がい者自立支援協議会 西・南エリア連絡会

第1回全体会 会議録

- 1 開催日時 令和4年6月9日 午後3時07分から午後4時45分
- 2 開催場所 南区役所 2階 21会議室 (Web会議併用)
- 3 出席状況 ※敬称略

構成員	相談支援事業所まで	鈴木 宏幸(会場)
	あさぎり	仲安 寛元 (Web)
	浜松市浜松手をつなぐ育成会 (障害者相談員)	伊藤 幸枝 (Web)
	ワークショップくるみ	袴田 みや(会場)
	浜松自立支援センター (障害者相談員)	水島 秀俊 (Web)
	可美地区社会福祉協議会	太田 智子(会場)
	新津地区民生・児童委員協議会	澤根 緑 (Web)

事務局	浜松市西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一朗(会場)
		古澤 則仁 (会場)
		森田 能行 (会場)
		長谷 瞳 (会場)
		横田 佑輔 (会場)
		谷内 俊介 (会場)
	浜松市西区社会福祉課	宮本 明浩 (会場)
	浜松市南区社会福祉課長補佐	藤澤 英樹 (会場)
	浜松市南区社会福祉課	内藤 淳 (会場)

オブザーバー	浜松市障がい者基幹相談支援センター	岸 直樹 (会場)
		山下 由佳 (会場)

<欠席者>

構成員	四季の郷	早戸 真規
	好生会三方原病院	小山友理子
	浜松市教育委員会指導課 (SSW)	長坂 聖子

4 傍 聴 者 5名

- 5 議 事 内 容
- 1 開会
 - 2 令和3年度西・南障がい者相談支援センター実績報告
 - 3 令和4年度浜松市障がい者自立支援協議会報告
 - 4 令和4年度西・南エリア連絡会活動計画案
 - 5 令和3年度西・南エリア連絡会ネットワークアンケート結果
 - 6 令和4年度西・南エリア連絡会予算

6 会議録作成者 浜松市南区社会福祉課障害福祉グループ 内藤 淳

7 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 有・

8 会 議 記 録

1	開 会 司会	浜松市西・南障がい者相談支援センター	長谷 瞳
2	議 事		
	(1)	令和3年度西・南障がい者相談支援センター実績報告 資料に基づき説明	
		<質疑応答>	
		・継続ケースの割合はどの程度か。 → 新規ケースの約半数が継続ケースとなっている。	
		・権利擁護として、行政との連携はどのような状況か。 → 障害者虐待の初動対応として、区社会福祉課に対する助言や支援を行っている。障害児は、児童相談所に通報がいつているものと考えられる。	
		・相談内容を、障害種別ごとに把握してみたらどうか。 → 今後の参考とさせていただく。	
	(2)	令和4年度浜松市障がい者自立支援協議会報告 資料に基づき説明	
		※質疑応答無し	
	(3)	令和4年度西・南エリア連絡会活動計画案 資料に基づき説明 → 承認	

< 質疑応答 >

- ・どのような地域課題が事務局では話し合われているか。
 - 事務局会議が報告の場となっている。計画相談が決まらないケースが数としては多く、センター内で集計をし、記録している。
- ・福祉サービス事業所の定員順守の現状は。
 - 定員超過の事業所が 1 件あった。相談としては、あまり無い。実態把握について、今後検討していく。
- ・地区部会は、事業所ごとにヒアリングを実施するのか。
 - 事業所の種別ごとに、それぞれ日を設けてヒアリングをする予定。
- ・日中支援型グループホームの評価において、新たに開設したソーシャルインクルーホーム浜松馬郡の取り扱いは。
 - 令和 5 年度から、評価の対象となる。

< 主な意見 >

- ・授産製品の販売に協力いただけるのはありがたい。ただ、カタログ販売だけでなく、場所を設けての販売も期待したい。県庁では、そうした取り組み例がある。
 - 今後の参考とさせていただく。
- ・地区部会には平成 29 年から参加しているが、白脇地区の方々と交流が持ててよかった。当事者の方々との交流についても、今後検討いただきたい。
- ・授産製品の販売について、例えば区役所の 1 階ホール等で一般市民向けに販売してみることはどうか。また、県は授産製品という呼び名ではなく、「福産品」という呼称に変更している。今後は、ぜひ「福産品」を呼称として使用いただきたい。
- ・日中サービス支援型グループホームの評価にあたり、事前に現地見学を行うことはよい取り組みである。

- (4) 令和 3 年度西・南エリア連絡会ネットワークアンケート結果
資料に基づき説明 → 承認

< 主な意見 >

- ・アンケートの返信率が低いですが、中でも「未回答」とはどういう意味か。
 - ネットワーク会議に参加していなかったという意味である。
 - ネットワーク会議を、Web 会議ではなく集合形式とし、構成員の方々が集まるきっかけとしていきたい。販売会を併せて実施するといったインセンティブも検討したい。

- (5) 令和 4 年度西・南エリア連絡会予算
資料に基づき説明 → 承認

※質疑応答無し

(6) その他

<構成員からの主な発言>

- ・放課後等デイサービス等、多くの事業所において、職員の疲弊等を理由に大量に離職するといった事例がある。利用者の不利益にもつながるため、対応が必要。
- ・日中サービス支援型グループホームにおいて、コロナに罹患した利用者が自宅に帰されるケースがあった。家族では対応しきれないためのグループホーム利用だけに、自宅に帰されるという事態は理解しがたい。他のグループホームはどういった状況か。
 - 社会福祉法人和光会のグループホームでは、利用者がコロナに罹患した場合でも、施設にて対応している。
 - 別の法人でも、同様にグループホームで対応していた。
 - 短期入所を利用中の方がコロナに罹患し、療養型宿泊施設を経て医療機関にて入院するというケースもあった。

3 閉 会

浜松市西・南障がい者相談支援センター 長谷 瞳

以上